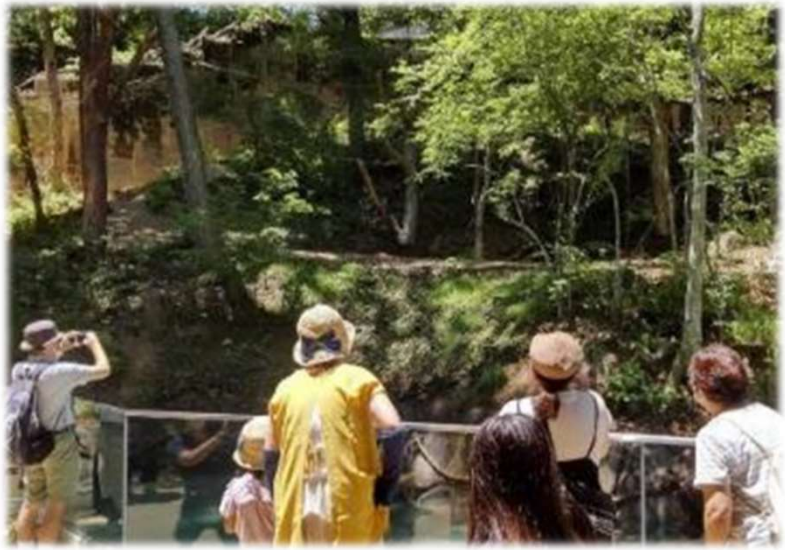
茶臼山動物園再整備事業の実施状況について

～寄附金・地方創生拠点整備交付金の活用～



都市整備部公園緑地課

KPI：key　performance　indicator
重要業績評価指標

- 地方創生に係る事業として具体的な重要業績評価指標（KPI）の設定と効果検証（PDCAサイクル）を行うことが必要であり、今回、委員の皆様に事業の実施状況をご報告するとともに、事業効果を検証するため、ご意見がありましたら頂戴したいと思います。

事業実施状況

オランウータン飼育展示施設「オランウータンの森」

令和３年７月　　一般公開

※寄附を募り施設を整備（寄附金を茶臼山動物園整備基金へ積み立て）

※地方創生交付金事業認定（内閣府）

ライオン飼育展示施設「ライオンの丘」

令和３年 ３月	地方創生拠点整備交付金事業認定（内閣府）
８月	整備工事着手　　※引き続き寄附金も活用
令和４年11月	建築工事竣工
12月	サポーター内覧会開催
令和５年 ２月	ライオン新施設へ引っ越し
令和５年 ４月	「ライオンの丘」オープン（４月22日） ※開園40周年記念事業として公開

アムールトラ飼育展示複合施設

令和６年４月～　猛獣舎再整備　　・・・学習（展示）・物販の機能を備えた複合施設として整備

（アムールトラ専用施設）　　<u>デジタル田園都市国家構想交付金</u>

<u>（地方創生拠点整備タイプ）の活用</u>

「オランウータンの森」展示施設の様子

●生息環境展示

動物が生息する自然環境を再現し

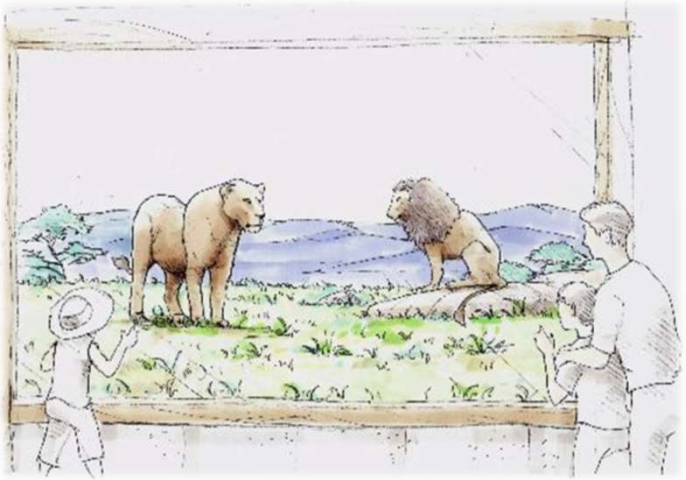
動物本来の行動を引き出す

- 立地特性（眺望・自然環境・地形）を生かす
- 自然風景と一体となった動物展示
- 他園にない独自の展示

オランウータンの森
＜令和３年7月オープン＞
自然の森を活用

「ライオンの丘」展示施設の様子

■眺望を活かしたライオン展示



ライオン展示イメージ

遠くの山並みを望む

お客様の近くに迫るライオン

ガラス越しに見る展示

ライオンがくつろぎ爪を研ぐ倒木

ライオンの姿をじっくりと観察

支援の状況について

■ 茶臼山動物園整備基金への寄附実績 （単位：千円）

整備施設	年　度	個　人		企　業		合　計
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	金額(円)
オランウータンの森	H30	253	7,438,000	16	17,162,000	24,600,000
	R1	228	2,358,000	34	9,450,000	11,808,000
	小　計	481	9,796,000	50	26,612,000	36,408,000
ライオンの丘	R2	206	1,900,000	20	3,910,000	5,810,000
	R3	429	4,216,000	33	11,510,000	15,726,000
	R4	303	2,652,000	10	7,300,000	9,952,000
	小　計	938	8,768,000	63	22,720,000	31,488,000
アムールトラの森	R5	245	2,622,000	20	6,800,000	9,422,000
	R6	99	786,000	5	5,400,000	6,186,000
	小　計	344	3,408,000	25	12,200,000	15,608,000
	合　計	1,763	21,972,000	138	61,532,000	83,504,000

個人サポーター募集リーフレット

支援の募集と自主財源の確保（サポーターとのかかわり）

■ サポーターイベント

サポーター登録証（寄附後１年間有効）

特別イベントに集まるサポーター

完成した施設の内覧会

飼育スタッフの解説・環境学習（獣害被害等地域の課題・採食行動・生息環境保全など）

【屠体給餌】
野生シカの足を
食べるトラ

■ サポータの紹介

寄附者銘板（個人・企業団体）

企業団体サポーター紹介

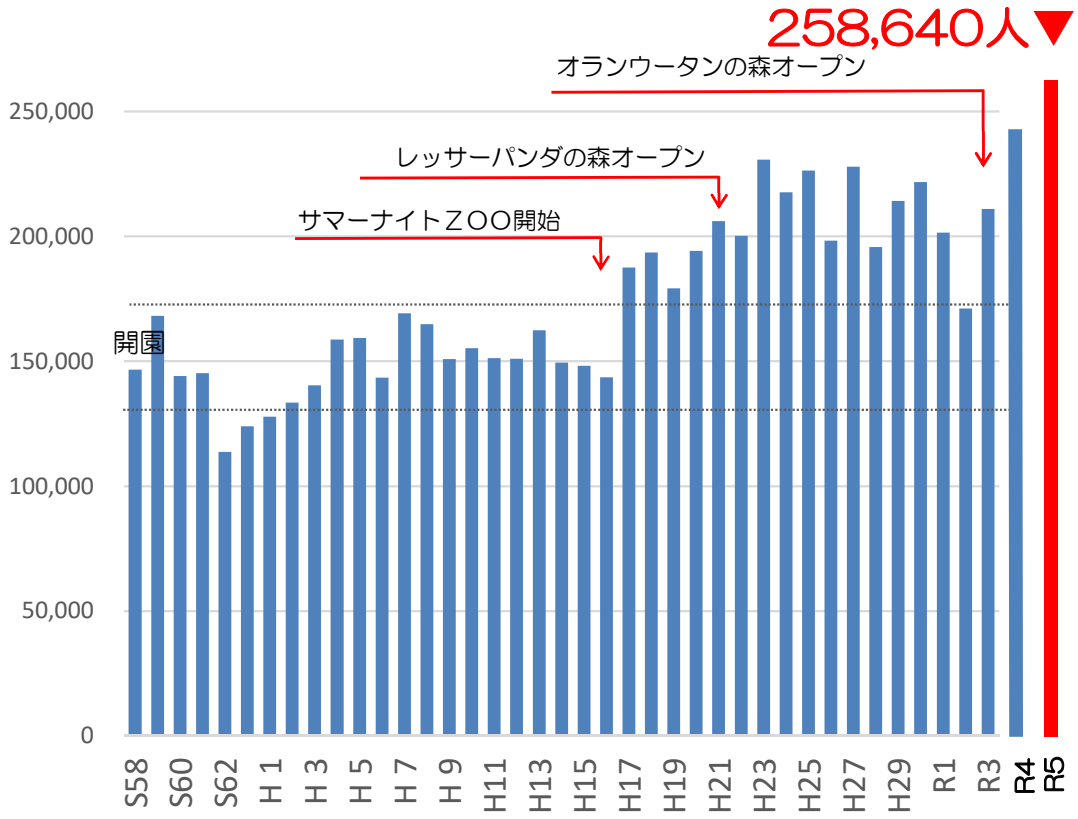
賛同をいただき
ながら再整備事業を
進めています

来園者の状況

〇年間来園者数：２０～２４万人（平成21年以降）

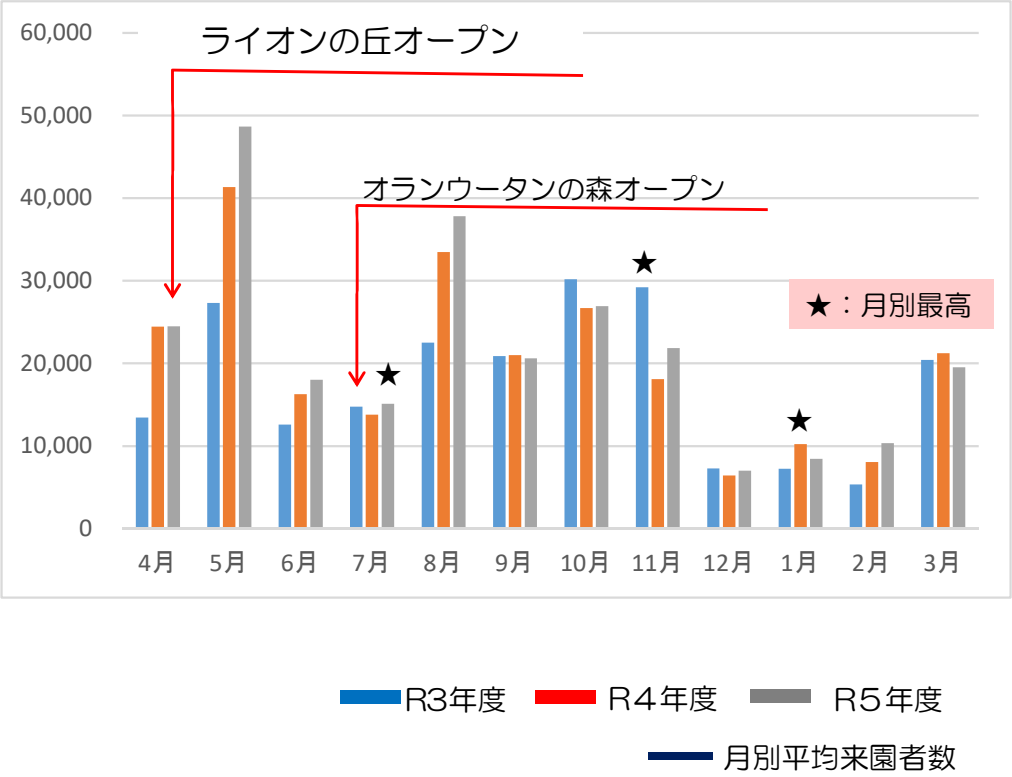
※ 過去最高を記録　２５８,６４０人（令和５年度）

年間来園者の推移



月別来園者数の推移（令和３年度～）

※令和5年5月4・5日は9千人／日を突破



「オランウータンの森」　交付金事業の検証

■ 事業費

財源内訳	金額（千円）	備　　考
寄附金（茶臼山動物園整備基金繰入金）	36，408	サポーター（個人・企業団体）からの寄附を基金に積み立て
市単独費	48，000	ふるさと“ながの”応援寄附含む
地方創生拠点整備交付金	**125，000**	**主に屋内展示施設**
合　　計	209，408	うち既存動物舎改修（クマ舎・現ｵﾗﾝｳｰﾀﾝ舎10,500千円）

※　平成30年度～令和元年度に寄せられた寄附金を活用（個人寄附：481件　9,796千円　・　企業団体寄附：50件　26,212千円）

■ 地方創生拠点整備交付金

認定計画：人と動物を魅了する地域固有の自然景観を活かした茶臼山動物園展示施設再整備

集客拠点としての取り組み

- **新たな手法を取り入れた展示施設による集客力向上**

  ＊ 森林景観を取り込んだ独創性のある屋内展示　　＊屋内展示の充実による冬期来園者数の底上げ

- **地域と連携（商工・農業）**

  ＊地域のイベント・観光施設・地元農産物の動物園内でのＰＲ

- **サポーターとの関係構築**

  ＊本園の取り組みに賛同する「動物園サポーター」との継続的な関係構築（サポーター特典等）

KPＩ（重要評価指標）の設定

①動物園来園者数　②観光入込客数（篠ノ井）　③動物園サポーター登録者数

オランウータン［ＫＰＩ（重要評価指標）の進捗状況］

①動物園来園者数

	基準値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目　標	215,000	215,000	225,000	230,000	235,000	240,000
実　績		201,444	171,062	210,962	240,880	258,640

令和３年７月17日のオランウータンの森オープン以降、7月と11月の月別来園者数が過去最高を記録するなど、来園者数は順調に推移し、令和４・５年度は過去最高を記録した。

②観光入込客数（篠ノ井）

	基準値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目　標	258,000	258,000	273,000	280,500	288,000	295,500
実　績		279,800	245,700	306,600	268,680	277,000

年度ごとの増減はあるものの、KPIを設定した５年間の目標値を合計した1,387,500人にほぼ近い1,377,780人を記録した。

③サポーター登録者数

	基準値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目　標	210	210	230	245	260	275
実　績		228	206	429	303	245

動物園サポーター登録者数についても、令和３年度以降減少傾向にあるが、令和5年度の申込金額は令和4年度と変わらない金額となっている。
（R4年度：2,652千円
R5年度：2,622千円）

オランウータン［ＫＰＩ（重要評価指標）の進捗状況］

A　本事業は、地方創生に非常に効果的であった：指標が目標値を上回ったなどの場合
B　本事業は、地方創生に相当程度効果があった：目標値を上回らないものの目標値を相当程度（7～8割）達成した場合
C　本事業は、地方創生に効果があった：目標値を上回らないものの事業開始前よりも改善したなどの場合
D　本事業は、地方創生に効果がなかった：実績値が事業の開始前の数値よりも悪化しているなどの場合
－ 本事業の効果の有無はまだわからない：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

①動物園来園者数

	基準値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
目　標	215,000	215,000	225,000	230,000	235,000	240,000	A
実　績		201,444	171,062	210,962	240,880	258,640	

②観光入込客数（篠ノ井）

	基準値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
目　標	258,000	258,000	273,000	280,500	288,000	295,500	B
実　績		279,800	245,700	306,600	268,680	277,000	

③サポーター登録者数

	基準値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
目　標	210	210	230	245	260	275	B
実　績		228	206	429	303	245	

【今後の展望】

サポーターイベントなどによって、サポーターによるＳＮＳへの投稿や拡散が増えており、動物園ファンのネットワークを通じて本施設の認知度も高まっていることから、集客ポテンシャルの向上も期待できる。

今後は、動物園の集客力向上効果を地域経済へ波及させるため、現在整備している売店において地域の農産物・特産品を販売し、地域経済の活性化につなげていく。引き続き商工団体や農業団体との連携を強化し、周辺観光施設などを動物園内でＰＲしていく。

「ライオンの丘」　交付金事業の検証

■ ライオン

●事業費

施設整備費：180，000千円

（単位：千円）

財　源　内　訳	令和2年度(補正)	令和3年度	令和4年度	備　　考
地方創生拠点整備交付金	150，000			
市単独費（茶臼山動物園整備基金繰入金等）		5，000	25，000	ふるさと“ながの”応援寄附含む

● 地方創生拠点整備交付金

認定計画：中山間地域の魅力を伝え暮らしを支え合う「人と自然の交流拠点」茶臼山動物園再整備事業

集客拠点としての取り組み

- **新たな手法を取り入れた展示施設による集客力向上**

  ＊大パノラマが広がる抜群の立地を活かし、眺望と一体化した動物展示施設を整備

- **地域の魅力発信**

  *眺望の良さなど長野の中山間地域の魅力を伝える動物展示施設

KPＩ（重要評価指標）の設定

①動物園有料入園者数（大人）

②動物園サポーター登録者数（市外）

③茶臼山モノレール利用者数

ライオン　［ＫＰＩ（重要評価指標）の設定］

①動物園有料入園者数（大人）

	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目　標	97,200	97,200	99,600	111,700	123,800
実　績		100,800	109,844	123,054	―

※基準値は令和元年度実績

②茶臼山動物園サポーター登録者数（市外）

	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目　標	122	122	132	142	152
実　績		207	168	161	―

※基準値は令和元年度実績

③茶臼山モノレール利用者数

	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目　標	75,100	75,100	77,600	87,600	97,600
実　績		79,802	93,955	91,410	―

※基準値は令和元年度実績

事業実施に当たっては、園内から望む約250㎢におよぶ大パノラマと一体化した国内では類を見ないライオン展示の計画をPRし、令和５年４月「ライオンの丘」をオープンすることができた。

動物園来園者数は、オランウータン展示施設がオープン（令和３年７月）したことによる効果もあり、令和５年度は過去最高の入場者数を記録した。KPIの動物園有料入場者数（大人）、サポーター登録者数（市外）、茶臼山モノレール利用者数は、いずれも目標値を上回り、再整備事業実施に伴い集客ポテンシャルは向上していると考えられる。

令和３年度の茶臼山動物園サポーター登録者数(市外)（人）が多いのは、令和２年度から募集開始していたライオンとトラのサポーター制度が多くの来園者へ伝わったものと推測される。令和４年度には減少となっているが、令和５年度は変わらない数となっており、リピートするサポーターが確保できていると考えられる。

ライオン　［ＫＰＩ（重要評価指標）の設定］

Ａ　本事業は、地方創生に非常に効果的であった：指標が目標値を上回ったなどの場合
Ｂ　本事業は、地方創生に相当程度効果があった：目標値を上回らないものの目標値を相当程度（7～8割）達成した場合
Ｃ　本事業は、地方創生に効果があった：目標値を上回らないものの事業開始前よりも改善したなどの場合
Ｄ　本事業は、地方創生に効果がなかった：実績値が事業の開始前の数値よりも悪化しているなどの場合
－　本事業の効果の有無はまだわからない：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

①動物園
有料入園者数（大人）

	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度	評価
目　標	97,200	97,200	99,600	111,700	123,800	135,900	A
実　績		100,800	109,844	123,054	—	—	

②茶臼山動物園
サポーター登録者数
（市外）

	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度	評価
目　標	122	122	132	142	152	162	A
実　績		207	168	161	—	—	

③茶臼山モノレール
利用者数

	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度	評価
目　標	75,100	75,100	77,600	87,600	97,600	107,600	A
実　績		79,802	93,955	91,410	—	—	

【今後の展望】

地元企業からも地域活性化に結び付く動物園の集客力向上に対する期待と事業に対する支援が得られていることから、商工団体との連携を強化し、ターゲットとなる大人の来園者を増やしながら周辺地域への経済波及効果を生み出していく。

さらに、来園者に対し、眺望の良さなど中山間地域の魅力を直接的に伝えるとともに、中山間地域で生産された飼料の消費を拡大することで、市内における資源の循環機能を強化していく。

アムールトラ展示整備（現状と課題）

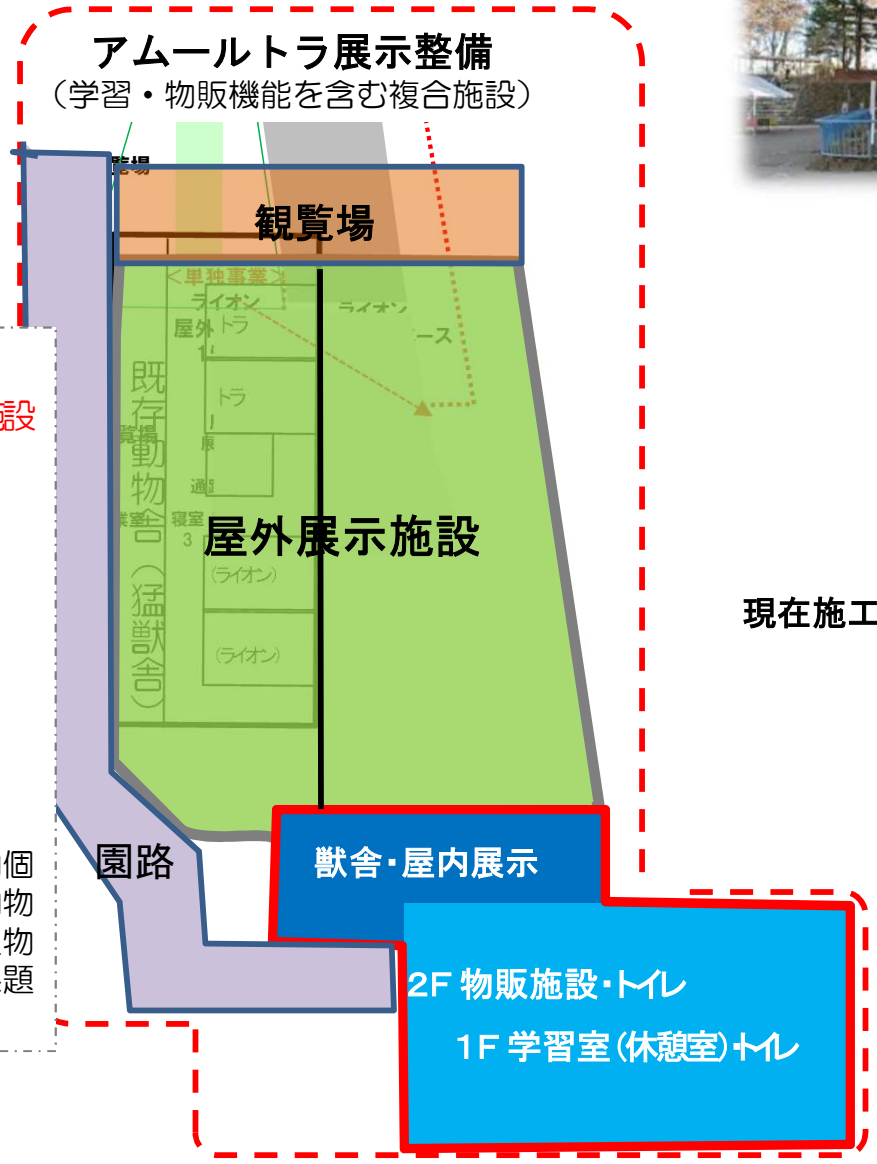
- 絶滅危惧種に指定され、国際的な計画のもと繁殖に取り組んでいる
- 飼育施設が不足し、繁殖した子を本園で飼育できない

飼育スペースが不足

生まれた子たちは他の動物園へ

既存獣舎

計画平面図



現在施工中

●アムールトラ飼育展示施設整備

◆学習・物販機能を備えたアムールトラ展示施設

◆地域の生物資源の好循環・地産地消の拡大

◆事業費：約4.5億円

財　源：・**デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点タイプ）**

・茶臼山動物園整備基金

・ふるさと応援基金

◆事業行程：①複合施設(獣舎-学習-物販）整備

②既存獣舎取り壊し

③屋外展示施設整備

※農林分野との連携し、駆除された野生動物個体の受け入れやジビエ食材の販売、野生動物に関する総合的な学習等を通じて地域の生物資源の好循環や消費を生み出し、地域の課題解決につなげる拠点施設として整備する

アムールトラ（整備の方針）

＜アムールトラ展示イメージ＞

＜飼育展示方針＞

- 繁殖可能な施設とし、種の保存に取り組む
  飼育可能頭数：２頭 → ４頭
- 樹木や水を用い森林環境を再現し
  森の中を動きまわる本来の生態を展示

シカの足（餌）

ジビエ食材

茶臼山はリンゴの産地

＜整備する機能＞

①展示機能（肉食動物　アムールトラ）

- 駆除肉を飼料として与える屠体給餌（とたいきゅうじ）・・・地域資源の活用、課題の解決
- 生息環境展示・・・自然環境・動物本来の生態の学習

②学習機能（休息所を兼ねた多目的学習室）

③物販機能

- 地域産農産物・ジビエ食材の販売・・・販路、消費拡大
- 動物園オリジナルグッズ販売

賛同をいただき
お客様を増やしながら
魅力ある動物園づくりに
取り組みます

アムールトラ　［ＫＰＩ（重要評価指標）の設定］

①地域における観光消費額（茶臼山動物園売店）

（千円）

	基準値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目　標	36,078	45,178	49,778	54,478	59,278	64,178
実　績						

集客拠点である動物園での地域の特産品やオリジナルグッズの販売を拡大し、観光消費の拡大につなげる

②茶臼山動物園来園者数

	基準値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目　標	240,880	245,880	250,880	255,880	260,880	265,880
実　績						

動物展示の魅力向上により来園者数を増やし、地域の交流人口拡大につなげる

③SNS公式サイトのフォロワー数

	基準値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目　標	22,400	25,400	29,000	32,600	36,200	39,800
実　績						

Wi-Fi環境の整備等により来園者の園内からの動画投稿を増やすとともに、動物園の公式サイトへの投稿にも注力し、SNSによる情報発信を強化していく

KPIをもとに事業効果を検証します